

すき♡スキ♡大好き

No.64

低学年例会

2024年4月20日(土)

開演: 15:30 / 18:30

会場: 長崎県美術館ホール

松本美里のひとり人形芝居
人形劇団 ひとみ座



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町4-26 北村第一ビル303号

Tel: 095-825-0533 Fax: 095-825-6151

E-mail: sukisuki@bird.ocn.ne.jp

<http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2024年4月20日

1. 巻頭企画 おしえて! 子ども先生
2. 低学年例会「おしいれのぼうけん」
3. 高学年例会「創楽堂リーディング」
4. 劇場バザー
5. ピアニカの魔術師
6. 高学年 春キャンプ
7. 市民の森デイキャンプ もちつき
8. 乳幼児部 クッキー
9. 絵本のとびら
10. 編集後記

前回の質問に対する ~子ども先生の解答~

Q. なんで音楽家になるかわからないのに、
リコーダーやケンハモをやらないといけないんですか？
意味を教えてください。

A. そういう運命だから／チョコちゃんにおこられるから／持ちネタになるから

Q. にじげんの「おし」に会うにはどうしたらいいですか？

A. しんじつづける／気持ちさえあれば次元の一つや二つ超えられるさ

もっこ おしえて子どもせんせい

Q. ビッグバンは、なぜおきた

Q. このおじさん変なんです。
どうして？(大喜利)

質問募集

皆さま～。子ども先生に教えて欲しい
質問・お悩み教えてください。

おしえて”おとな”せんせい 番外編

Q. どうして増税するの？

なぜ税金が上げられて国民は苦しむ一方なのに
議会中寝ている政治家の給料は下がらないのか？
ぜひ、教えてください。

舞台鑑賞

★4月例会★

4月低学年例会

おいしいの ぼうけん

人形劇

人形劇団 ひとみ座

2024年4月20日(土) ①15:30 ②18:30 開演(15分前開場) 長崎県美術館ホール

絵本の名作「おいしいのぼうけん」が人形劇になりました!



おいしいに閉じこめられた、
さとしとあきらが
手に手をとって、
ぼうけんの旅に出る!

松本美里の
ひとり人形劇

上演時間: 50分



「さとちゃん、手をつなごう」「あーくん、てだ、てをつなごう」

さくらは保育園に通うさとしとあきはある日、おもちゃの取り合
でけんかになり、先生に叱られて反省のためにおいしいに閉じ込めら
れる。真っ暗なおいしいの中で二人はしばらく口もきかなかったが
やがておいしいの闇がふくらみ、たくさんのネズミを従えたネズミば
あさんが現れる。怖さにふるえながらも、二人は手に手をとって
ネズミばあさんに立ち向かってゆく...

子どもたちにとって「空想」は大きな力
です。空想によって様々なものを生み
出し、世界を広げ、生きる喜びを知ります。
この物語には、子どもたちの生きる力が
目いっぱい詰まっています。
小さな主人公たちの、大きな空想力によ
る、ダイナミックな物語をハラハラドキ
ドキ、ご覧ください。



原作/ふるたたるひ・たばたせいいち (童心社)

脚本・演出/西上寛樹 出演/松本美里

美術/本川東洋子 作曲/庄子智一

次回低学年例会

さんさん&りっちゃんと
いっしょにあそぼ! ワケヨッパ

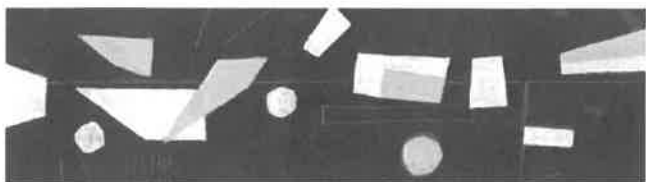


2024・9・21(土)
14:00~15:30
平和会館ホール

②

創楽堂リーディング 2024

NDR



長崎ドラマリーディングの会

ドラマリーディングに限定した活動を行う団体です。長崎市内のバーやカフェで不定期に公演を行っています。

ドラマリーディングとは、
役者が台本を手を持って演じる、演劇の表現形態のひとつです。

役者たちの声と身体、そして楽器をつかって
「台本の中に描かれている世界」を表現していきます。

何気ない日常の可笑しさだったり、落語のような滑稽さだったり、
優しさや寂しさだったり、なにかの限界に挑む姿だったり…

台本を耳で観るという、ちょっと不思議な体験。
カギになるのは、あなたの想像力。

日常から大きくジャンプして、
心の中にどこまでも広がる物語風景をどうぞお楽しみください。

【出演者】

作・演
たじま裕一

出演
田中俊亮
石長由紀子
たじま裕一

演奏
たき

■□創楽堂リーディング2024□■

1 コモンなピープルのオーディナリーなデイズ

NDR のリーディングはいつも、普通の人々の
何気ない日常をテーマとした軽めのコメディから
始まります。特にバズるわけでもなく、これと
って映えもしない、だけどなんだか愛おしい。
そんな姿をお楽しみください。

2 古典落語改作

昔々に生きていた人々の滑稽なお話を、いま
の時代にアレンジしてお届けします。前回の創楽
堂リーディングでは、けちなお金持ちが自分のお
葬式をどうするか息子たちにアイデアを出さ
せる「片棒」でしたが、さて今回は…？

3 静かな短編

みんなで一緒に声を出して笑うのも演劇の醍
醐味ですが、静かな心でじっと舞台をみつめる
のもまた違う良さがありますよね。誰かの人生
をそっと見守る気持ちで観ていただけたらうれ
しいです。

4 スイング・オア・ダイ

この街のどこかにきつと生きているはずの、
黒木さんと白石さんの奇妙な冒険。前回の創
楽堂リーディングでは、エル・キャピタン級に可
視化された概念としてのダイエットの壁をフリー
ソロクライミングで乗り越えようとするお話
でした。Don't think, Feel(考えるな、感じる)
のココロねっこで、ありったけの想像力を
駆使してお楽しみください。

次回高学年例会

ゆらとまあばあちゃん
～おばあちゃんのきおく～



9月20日(金) 19:00 メルカつきまち

輝け子どもたち！ にっこりホットな 劇場バザー

2024.3.10(日)10:00～
魚の町公園&市民会館展示ホール

寒さが気になる3月上旬ですが、今年はお天気に恵まれ、すっかりバザー日和でひと安心。コロナ明けで4年ぶりに実施した昨年に比べれば売り物の数は少なかったようですが、収益目標20万円に近い184,064円を計上できました。

ブロックの子どもコーナーは、長与の射的ゲーム、新大工のスライム&レジン工作、東長崎のワニワニパニック、小江原のぬいぐるみのお店といろいろなアイデアで盛り上げてくれました。

会員のお昼用にと準備した食品コーナーはすべて完売!!

毎年、このバザーを楽しみにしてくださっている常連のお客さんもいるようです。ブロックでの値付けや前日搬入、当日のお手伝いにご協力ありがとうございました。



ピアノカの魔術師

4月13日(土)ピアノカの魔術師

大人バージョンが開催されました。

昨年、日見学童保育とんねるクラブさんから「ピアノカの魔術師をやりたい!」との声があり



「私たちも大人バージョンやりたい!」と鑑賞部のメンバーを中心にピアノカ大好きな人が集まり今年1月に実行委員会を立ち上げました。チケット作りやチラシのデザインの相談など事務所に集まりワイワイ。作業がメインか?おしゃべりがメインか?いざ券売になると日程が他のいろいろな行事と重なっていることがあり苦戦しましたが当日はホールいっぱいの人で迎えることができました。メルカつきまちさんが玄関やエレベーターに貼ってくれたチラシや公共施設に置いてもらったチラシを見ての申し込みや「今日まで予定がわからなかったけど来ました!」とうれしそうに当日飛び込みで参加された



お客さんや「3回目なんですよ」と声をかけてくれたお客さんもいました。今までの子ども劇場での開催で会員からだけでなく一般の方への広がりを感じました。演奏曲もクラシックやタンゴなど素敵なものでしたがミッチュリーさんの平和に対する思いが観ている聴いている人の心をつかみ最後の曲ではステージと客席がひとつになってホールをつつみこんだように感じました。演奏後のグッズ販売も盛況でミッチュリーさん高田さんのサインを求める人で長い列が



できました。その後も2人を囲んでおしゃべりする方々が途切れず「すみません この後片付けの時間が迫っているのでこのへんで…」の声かけでお帰りいただきました。帰る方々の顔は晴れやかで「元気をもらった!」と声かけしてくれる方もいて実行委員も取り組んでよかったと充実した気持ちです。この後実行委員まとめの会を予定していますがそこでおしゃべりが今から楽しみです。

(実行委員長 後田 晶子)



春キャンプ

in 市民の森

2024年3月23日～3月24日

春だ！ 新入生だ！ 新・中学／高校／大学／社会人だ！めでたい！ よっしゃ、みんなでお祝いだ！

ということで、今年も開催しました、新入生歓迎企画「春キャンプ」！ 今回のテーマは「新入生を全”速”力で祝う！」ということで、晴れスケジュールでは昼も夜もひたすら走る企画を詰め込んでいました。が、実行委員長は今まで数々の企画を雨へと導いてきたきよーちゃん。例に漏れず今回泣く泣く雨スケジュールとなってしまいました。

今回は新中学生1名、新高校生1名、在劇場生6名、青年2名の参加者計10名と少人数のキャンプでした。しかしワクワクは少人数だろうが変わりません。小雨のばらつくお昼時、まずは長崎駅前南口バス停組が集合。バスに乗って唐八景まで行き、そこで最後の一人と合流。市民の森のバンガローまで徒歩で移動し、みんなのアドリブ力と驚きが詰まった「他己紹介、新入生を迎える「入学式」を経て、今回のメイン企画「Secret mission」の配布。まだ雨が降っていなかったため、グラウンドへ移動し、「順番鬼ごっこ」「ケイドロ+」で走り回り、お腹を空かせて夕食作りへ。夕食のあとは「キラークイーン」「人狼」で盛り上がり、恒例の夜更かしタイムへ。雷雨にはしゃぎながらそれぞれに濃い夜を過ごして、朝。過去一豪華な朝食を終え、感想文を書き、さらに福岡へ転校する子へみんなで行ってらっしゃい」を伝えて現地解散。全員集合から解散まで約20時間という、1日にも満たない日程でしたが、「春キャンの良いところの詰め合わせ」のような充実したキャンプとなりました。

今回、青年はご飯作りに一切手を出さないと宣言し、中・高校生だけでご飯を作ってもらいました。数々の面白調理を生み出した中・高校生の作り上げたカレーは最高の味でした。米は水を入れて炊こう。具材を炒めるときは油を引こう。覚えることはできたでしょうか？ さらに、今回は入学だけではなく転校する子がいるキャンプということで、「Secret mission」を企画。誰にも気づかれないように、ターゲットから指定された情報を聞き出せ！という企画ですが、実は転校する子以外の9名には別のミッションが課せられていて・・・というもの。たった一人にだけ気づかれてはいけないという緊張感と団結力、みんな楽しみながら転校生を送り出そうというこの企画の結果、いつになく会話が弾み話題の途切れないキャンプとなりました。一体どんなことをしたのか、詳細はどうぞ文集をご覧ください。

実行委員のまとめの会では、とにかく「楽しかった！」の嵐。反省点というものが見つからない、という言葉も出た程でした。今までの反省点は、「発生したときに何をしても解決ができなかったこと」でしたが、今回は物品の不足が発生したものの子どもたちがそれを自分たちで解決していました。そんな子どもたちの成長を見ることができた今回のキャンプ。短くともみんなと楽しめた、最高の時間ででした！

実行委員長 増田杏子



デイキャンプ

2024年3月31日



数年ぶりのもちつき！

もち米 10 キロを 4 回に分けてつき、小餅が約 220 個できました。

もちをついてくれたお父さんたち、小さい子どもたち！

もちを返すお母さんの手際の良さ！

同時に具雑煮に奮闘するお母さん！

みんなのおかげで柔らかい小餅が完成しました。

作った小餅は具雑煮、あんこ、きな粉、大根おろし、さとう醤油と
いろいろな食べ方で美味しくいただきました！

グラウンドでは 4 月の例会にちなんで「ねずみばあさんおにごっこ」
をしました。大人も本気で走って楽しんでいました。ねずみの
被り物がよくできていましたね！お土産のお餅もあり、嬉しいデイ
キャンプになりました。

(自主活動部長・今井 春美)



乳幼児部 クッキー

クッキーひろば

毎月1回 日曜日 10:30~14:00
※日にち・会場については
事前にご確認ください。

*2/18(日)節分あそび

いつものわらべうたのあとに今月は節分の鬼のお面作りと豆まきならぬ豆当てごっこをしました。小さい子もいるので顔のパーツは事前準備したものを両面テープで貼り付けるだけにして完成!! カラフルボールを豆にみだてて一列に並べた鬼さんたちめがけて豆を投げます。お兄さんお姉さんたちの本気の豆投げには鬼たちも一撃でした。

スタッフ手作りの鬼さんトンネルも好評でハイハイしながらのトンネルくぐりは何度も楽しんでいました。



*3/17(日)かわいい発表会

3月は毎年恒例の小さな発表会。できるようになったこと、お家でいつもやっていることなどを一芸披露!! インフルエンザの流行もあり、お休みが多い中、見学の親子さんにも参加していただき、少ないながらも子どもたちの頑張りで楽しい発表会でした。6ヶ月児さんの寝返りはママのアシストありで見事に成功! 2才児さんの好きな鉄道の歌はみんなで合唱♪ 姉妹そろってのかわいいダンスなど微笑ましい演技で盛り上がりました。



*4/14(日)手形足形スタンプ

新年度になり、クッキーにも新たな顔ぶれが加わり、早くお名前と顔を覚えたいと、自己紹介的に作ろうとなりました。それぞれに好きな色を選んで、絵の具と筆の感触を楽しみながらぬりぬり。自分で塗れる子は自分で。赤ちゃんはお手てをなめるので足にぬりぬり。



時間が足りずに完成までにはできず、おうちでの仕上げになりました。メッセージを書いて親子でパチリ! クッキーの自己紹介アルバム、完成が楽しみです♪





ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介させていただきます**

新年度が始まりました。入園、入学、進級、ワクワクとドキドキで胸をいっぱいにしてそれぞれの場で歩みを始めたことでしょう。その様子を見守るおとなも楽しい毎日が送れることを願って子どもたちを送り出しています。徐々にひとり立ちしていく子どもたちにエールを贈りたいと思います。

◆『おいしいのぼうけん』 ふるた たるひ たばた せいいち さく 童心社



1974年に刊行されてから半世紀にわたって読み継がれてきた絵本が、ひとり人形芝居になりました。絵本を読んだことのある人もない人もきっと夢中になりますね。

「ここは さくらほいくえんです。さくらほいくえんには、こわいものが ふたつあります。ひとつは おしいれで、もう ひとつは、ねずみばあさんです。」

保育園のお昼寝前にミニカーの取りあいでけんかになったさとしとあきは、先生に叱られておしいれに入れられてしまいます。そこには地下の世界が広がり、ねずみばあさんがふたりを追いかけてきたのです。

実は我が家の息子たちはねずみばあさんが怖くてこの絵本が読めませんでした。人形芝居だったら楽しめたかな？

◆『わんぱくだんのにんじゃごっこ』 ゆきの ゆみこ 上野 与志 作 末崎 茂樹 絵 ひさかたチャイルド

けん、ひろし、くみ、なかよしトリオのわんぱくだん。にんじゃごっこをしていてがけからころがり落ちると、そこはおさむらいの住む時代。お城に閉じこめられたさくらひめを助けだそうと、三人はにんじゃの業を使ってあの手この手で切り抜けます。

読んだらにんじゃごっこがしたくなるしかけがいっぱい。空想の世界でぼうけんを楽しめるわんぱくだんのシリーズ。次々読みたくなること間違いなし！

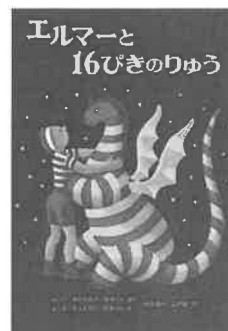


◆『エルマーのぼうけん』 ルース・スタイルス・ガネット 作 ルース・クリスマン・ガネット 絵 渡辺 茂男 訳 福音館書店

「ぼうけん」と言えばこの本は外せません。『エルマーとりゅう』『エルマーと16ぴきのりゅう』と続く3部作。アメリカで1948年、日本では1963年に刊行されて以来、半世紀以上読み継がれているロングセラーです。

ある雨の夜、年取ったねこから「どうぶつ島」とらえられている子どものりゅうの話聞いたエルマーは、すぐに助けに行くことを決めます。リュックサックにチューインガム、ももいろのぼうつきキャンデー2ダース、わゴムーはこ、くろいゴムながぐつなどたくさんものをつめ、「どうぶつ島」につながる「みかん島」に渡る船に隠れて乗りこみます。

5歳ぐらいで読むのが一番おススメですが、自分で読めるようになるのは2年生ぐらいかなあ……。ということで、まずはおとなが読んであげてくださいね。お話を耳で聞いて絵を見るのがこの本の最高の楽しみ方です。



<編集後記>

新年度の忙しい月、例会あるけど広報部発行はさぼっちゃう？と言いながら、活動報告あるからやっぱり作らねばね！…ということで花粉、黄砂のせいで鼻水、咳に悩まされながら作業しております。

さあ、ピカピカの新一年生（小、中、高、大、社会人）は元気かな。

少しは新しい環境に慣れたかな。

劇場でも新しい仲間との出会いがあることを楽しみにしています。

